

Formula NIPPON NEWS 2010.11.14

JAF Grand Prix SUPER GT & Formula NIPPON

FUJI SPRINT CUP 2010 第2レース [富士スピードウェイ]

FUJI SPRINT CUP・フォーミュラ・ニッポン 第2レースロッテラー (PETRONAS TEAM TOM S) が2連勝山本 (NAKAJIMA RACING) が初表彰台を獲得

「JAF Grand prix SUPER GT & Formula NIPPON FUJI SPRINT CUP 2010」は、いよいよ最終日を迎えた。曇りがちなが温かい1日となった11月14日(日)、メインイベントのひとつであるフォーミュラ・ニッポンの第2レースが行われた。ポールポジションからスタートしたNo.36 アンドレ・ロッテラー(PETRONAS TEAM TOM'S)が昨日に引き続き、独走で2連勝。これに続いたのが、好スタートを決めたNo.31 山本 尚貴(NAKAJIMA RACING)だった。山本は、フォーミュラ・ニッポンでは初の表彰台を獲得。No.16 井出 有治(MOTUL TEAM 無限)も1年を締めくくるレースで3位に入賞し、今季初表彰台を獲得している。

昨日と同様に午後0時45分、フォーミュラ・ニッポンのフォーメーションラップがスタート。この時点で気温は16℃、路面温度が24℃と、昨日よりも路面温度が4℃ほど高いコンディションとなった。15台のマシンが1周の隊列走行を終えて、正規グリッドに着くと、シグナルオールレッドからブラックアウト。ここでホールショットを奪ったのが、ポールポジションのロッテラー。予選8番手の井出が、昨日に引き続きスーパースタートを決め、1コーナーまでに2番手まで浮上してくる。さらに予選6番手の山本、予選4番手のNo.2 伊沢 拓也(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)、予選3番手のNo.10 塚越 広大(HFDP RACING)、予選11番手のNo.3 松田 次生(KONDO RACING)、予選12番手のNo.1 ロイック・デュバル(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)と続いた。

その後方では、昨日に引き続き波乱が発生。No.7 ケイ・コッツォリーノ(Team LeMans)とNo.19 J.P・デ・オリベイラ(Mobil 1 TEAM IMPUL)がオープニングラップのコカ・コーラコーナーで接触。オリベイラは、フロントウイングを破損して、ピットインを余儀なくされた。また3周目の13コーナーでは、No.32 小暮 卓史(NAKAJIMA RACING)がコッツォリーノに追突。コッツォリーノもここでリタイヤした。

上位の争いでは、2周目にポジションの入れ代わりが。13コーナーで山本が、井出のインを差し2番手に浮上する。ここからトップのロッテラーを追いきたい山本だったが、なかなか差を詰めていくことが出来なかった。一方3番手に後退した井出は、伊沢に追われる展開となる。しかし、ここで踏ん張りを見せ、猛プッシュ。これで伊沢は次第に引き離されていくことになる。その後レース中盤までに松田、塚越をかわし、伊沢の後ろに迫ったのがデュバル。この2人は、シーズン中にはありえないようなチームメイト同士の大接近バトルを見せ、観客を沸かせる。しかし、デュバルのフロントタイヤが次第に厳しくなり、終盤は少しずつ伊沢がマージンを稼いで行った。

そして22周という短いレースで、ロッテラーが昨日に引き続き独走優勝。山本が最後までポジションを守り切って初表彰台を獲得した。井出も嬉しい今季初表彰台を獲得している。

Formula NIPPON NEWS 2010.11.14

JAF Grand Prix SUPER GT & Formula NIPPON

FUJI SPRINT CUP 2010 第2レース [富士スピードウェイ]

第2レース優勝ドライバー&監督のコメント

気分良く帰ることが出来るし、少しリッチにもなったよ

第2レース優勝：アンドレ・ロッテラー（PETRONAS TEAM TOM'S）

とてもいい週末だったよ。GTの方はいい成績ではなかったけど、フォーミュラ・ニッポンの方は2レースとも勝つことが出来たからね。これで気分良く家に帰ることが出来るし、少しリッチにもなったよ。このイベントは2つのレースがあるので、とても楽しいと思うんだけど、とても忙しくて、少しストレスがあったのは確か。でも、いつも応援してくれるファンの皆さんに何か恩返しをしたかったから、そういう意味ではいいイベントだったと思うよ。

いいドライバーと一緒にレースが出来て、とてもハッピー

第2レース優勝チーム監督：舘 信秀（PETRONAS TEAM TOM'S）

見ている人にとっては、今日もアンドレの独走だったのであまり面白くなかったかもしれませんが、やっている方はスプリントとはいえ、とても長く感じるレースでした。でもこんなにいいドライバーと一緒にレースが出来て、とてもハッピーです。フォーミュラ・ニッポンに関しては、皆さんご存知のようにお客さんが少ない状況なので、少しでも多くの人たちに見てもらいたいというのが共催の目的の一つだったと思います。だから、この後どうなるのが楽しみですね。ただ、フォーミュラ・ニッポンのレースは本来もう少し長めのレースであって、タイヤ交換とか燃料搭載の作戦で順位が入れ代わるので、本当の面白さが伝わったかどうか心配です。また、周りからレジェンドカップが一番面白かったといわれたのは少し残念でしたね。

Formula NIPPON NEWS 2010.11.14
 JAF Grand Prix SUPER GT & Formula NIPPON
 FUJI SPRINT CUP 2010 第2レース [富士スピードウェイ]

FUJI SPRINT CUP 第2レース 公式順位結果

富士スピードウェイ (レーシングコース 全長 4,563km)

天候：曇り コース：ドライ 開始時 気温/路面温度： 16 /24
 開始/終了時間： 12:48 ~ 13:20

Po	No	Name	Team	Time	Delay	Best Time
1	36	アンドレ・ロッチェラー	PETRONAS TEAM TOM S	31'39.941		1'26.045
2	31	山本 尚貴	NAKAJIMA RACING	31'46.930	6.989	1'26.151
3	16	井出 有治	MOTUL TEAM 無限	32'02.240	22.299	1'26.853
4	2	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	32'05.516	25.575	1'26.895
5	1	ロイック・デュバル	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	32'06.728	26.787	1'26.780
6	20	平手 晃平	Mobil 1 TEAM IMPUL	32'07.303	27.362	1'26.586
7	10	塚越 広大	HFDP RACING	32'11.858	31.917	1'27.045
8	37	大嶋 和也	PETRONAS TEAM TOM S	32'12.460	32.519	1'26.762
9	29	井口 卓人	DELIZIEFOLLIE/CERUMO・INGING	32'17.000	37.059	1'27.217
10	3	松田 次生	KONDO RACING	32'20.869	40.928	1'27.344
11	18	平中 克幸	KCMG	32'23.224	43.283	1'27.366
12	8	石浦 宏明	Team LeMans	32'23.333	43.392	1'27.280
13	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	32'39.475	59.534	1'26.101
14	19	J.P・デ・オリベイラ	Mobil 1 TEAM IMPUL	32'13.001	1Laps	1'25.878
-	7	ケイ・コッツォリーノ	Team LeMans	3'01.122	20Laps	1'28.040

FASTEST LAP: 1'25.878 (6/21) No.19 J.P・デ・オリベイラ / Mobil 1 TEAM IMPUL 191.281km/h

規定周回数 19Laps

- 1CarNo.32 は 2010 年富士スピードウェイ一般競技規則第 3 章第 16 条 4.(1) (追突)により、ドライビングスルーペナルティを科した。
 2CarNo.19 は 2010 年富士スピードウェイ一般競技規則第 5 章第 16 条 4.(1) (追突)により、ドライビングスルーペナルティを科した。

【この件に関するお問い合わせ】
 株式会社日本レースプロモーション
 広報担当 石原
 media@f-nippon.co.jp